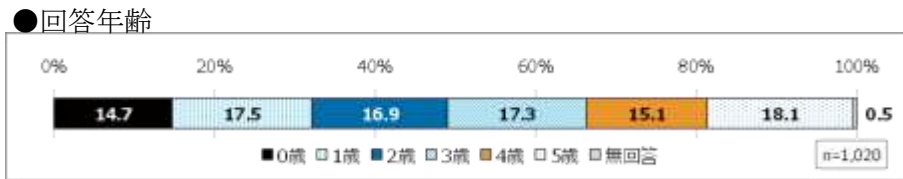


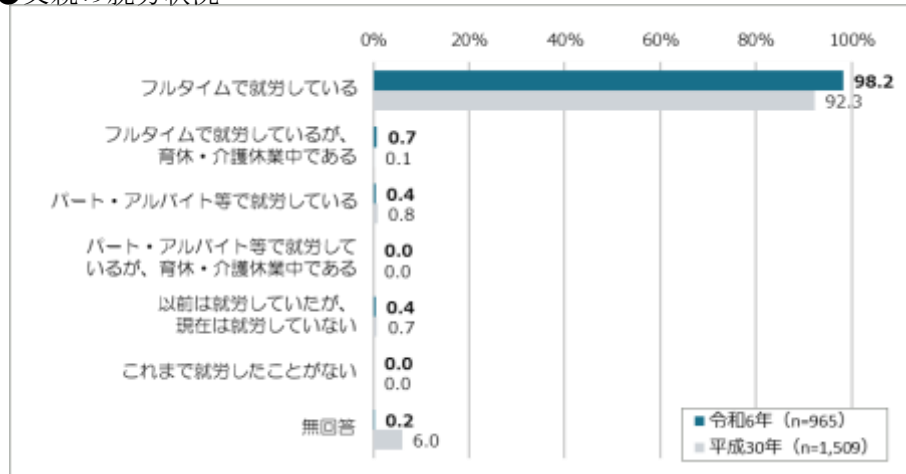
【南魚沼市 就学前児童向けアンケート調査結果】

区分	就学前
配布数	1,399件
回収数	1,020件
有効回答数	1,020件
回収率	72.9%



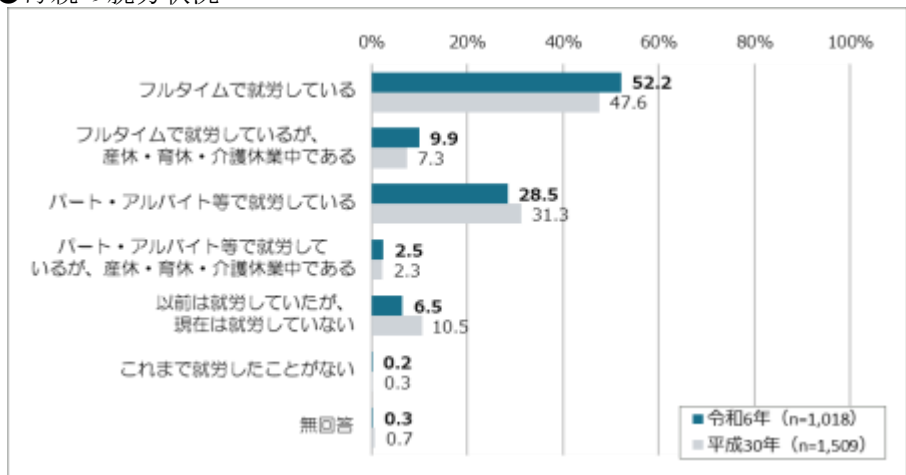
【保護者の現在の就労状況】

●父親の就労状況



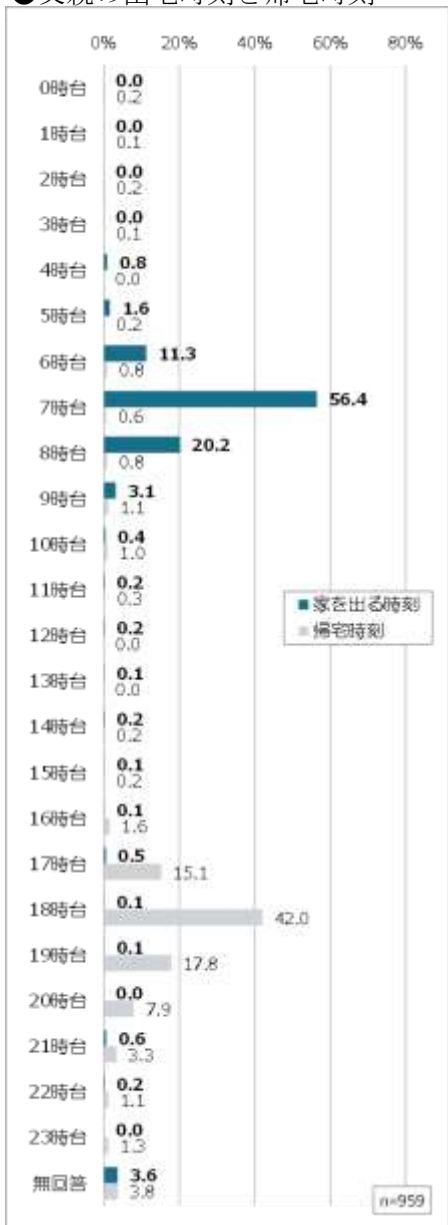
※平成30年の前回調査では父親が不在の世帯を「無回答」として集計していました。

●母親の就労状況



※平成30年の前回調査では父親が不在の世帯を「無回答」として集計していました。

●父親の出宅時刻と帰宅時刻



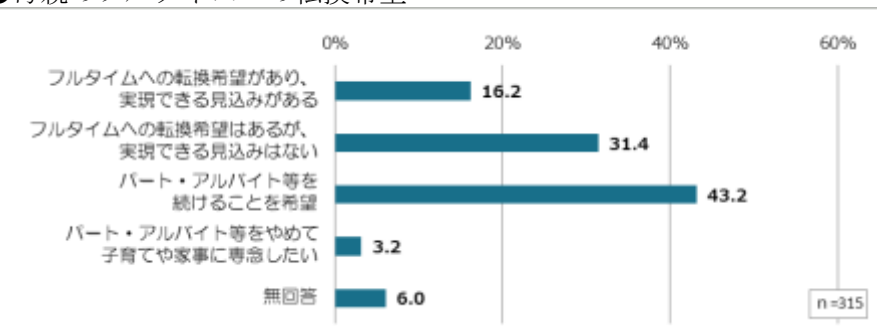
●母親の出宅時刻と帰宅時刻



●父親のフルタイムへの転換希望

該当者は4人 (n=4) で、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.0% (1人)、無回答が75.0% (3人) となっ

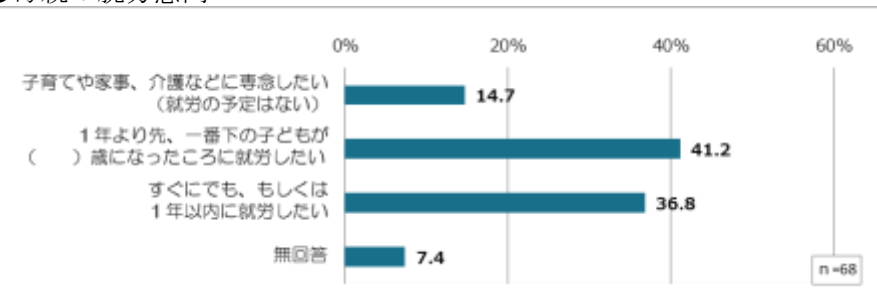
●母親のフルタイムへの転換希望



●父親の就労意向

該当者は4人 (n=4) で、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が50.0% (2人)、無回答が50.0% (2人) となっています。就労予定の2人が希望する就労形態は「フルタイム」と「パートタイム、アルバイト等」がそれぞれ50.0% (1人) となっています。パートタイム

●母親の就労意向



【南魚沼市 就学前児童向けアンケート調査結果】

【平日の定期的な教育・保育事業の利用状況・希望について】

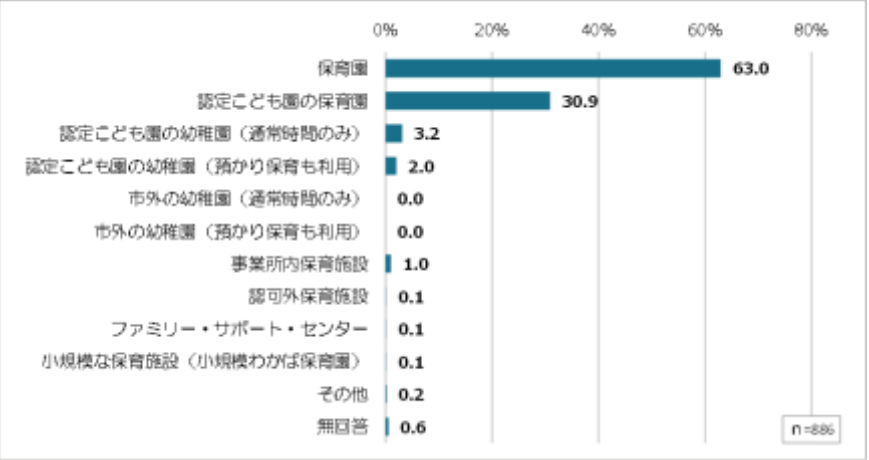
●教育・保育事業の利用の有無



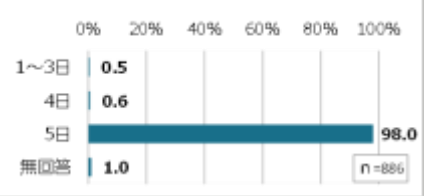
●地域別の教育・保育事業利用状況



●教育・保育事業の利用状況



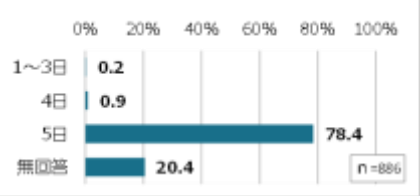
●1週あたりの利用日数



●利用時間帯



●1週あたりの利用希望日数



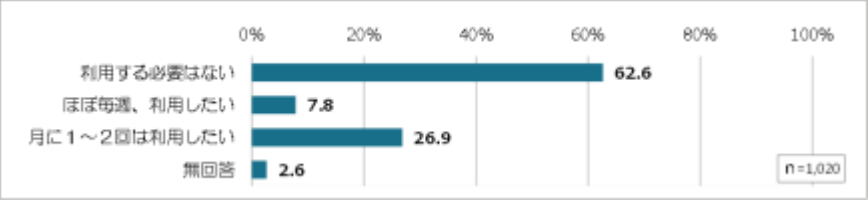
●利用希望時間帯



【南魚沼市 就学前児童向けアンケート調査結果】

【土日・祝日や長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について】

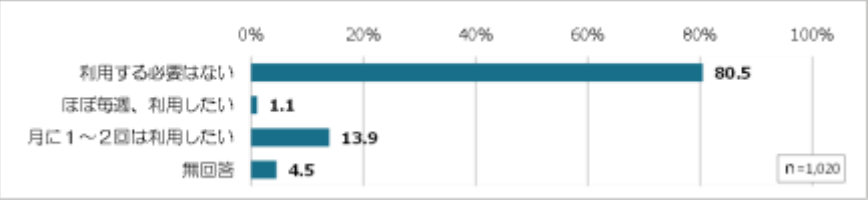
●土曜日



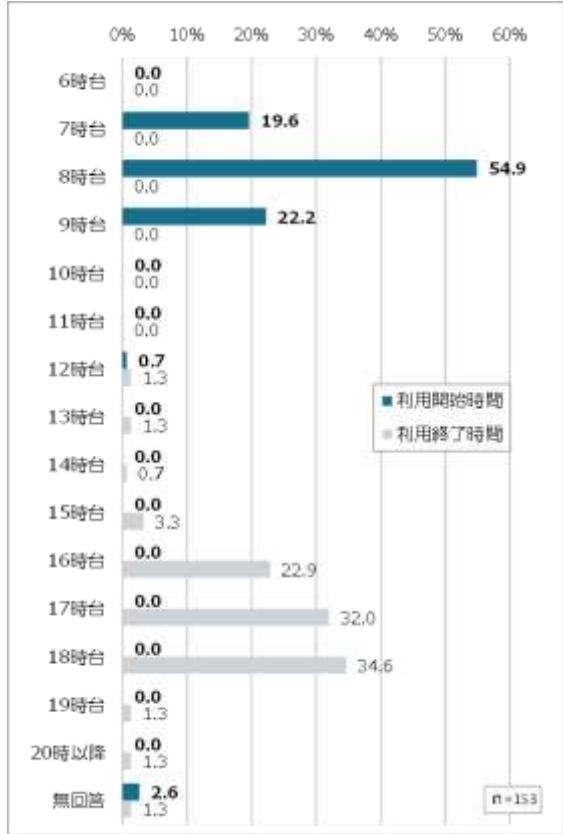
利用希望時間



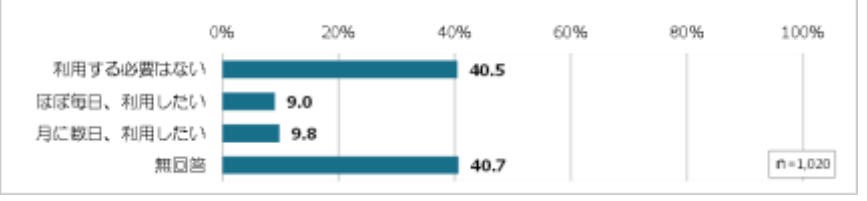
●日曜日・祝日



利用希望時間



●長期休暇期間中



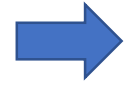
利用希望時間



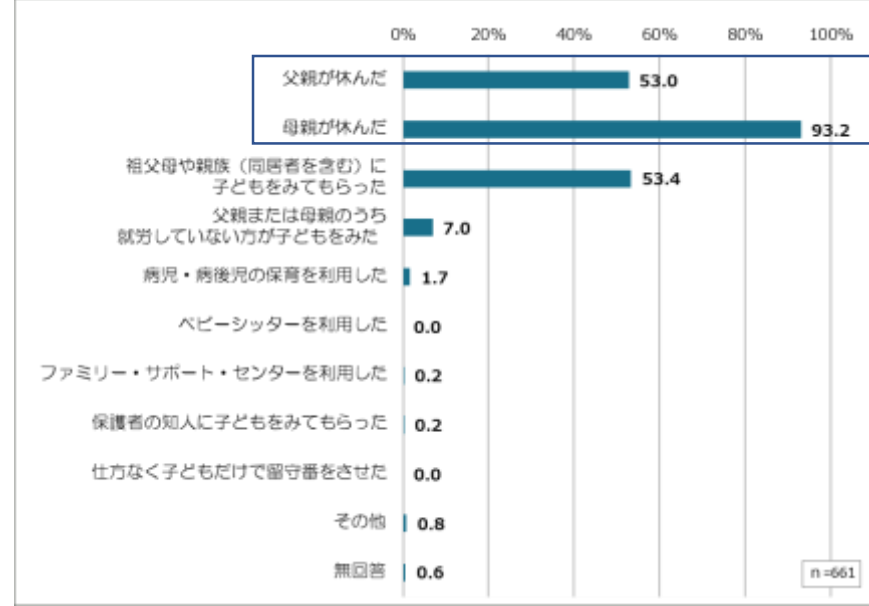
【南魚沼市 就学前児童向けアンケート調査結果】

【病気などの際の対応について】

●病気などで教育・保育事業を利用できなかった（過去1年間）



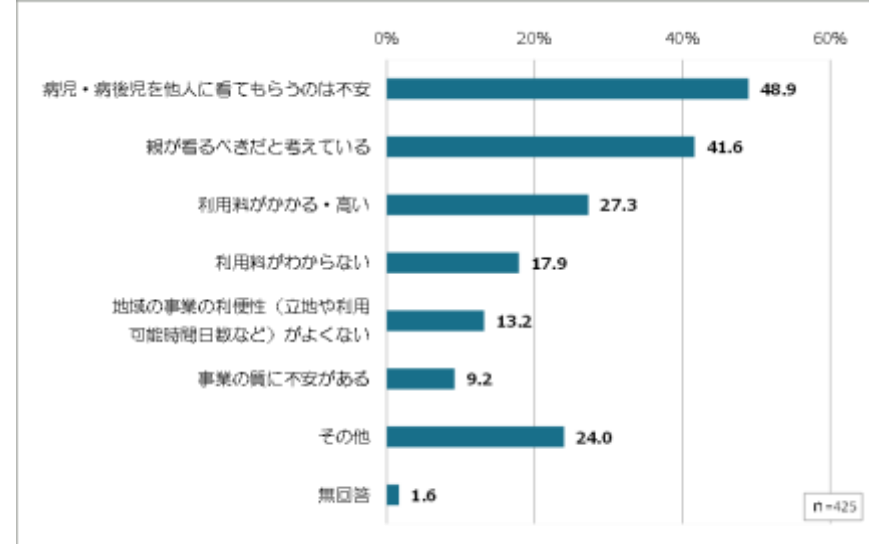
●事業が利用できなかった時の対処法



●病児病後児の利用希望有無（父、母が休んだ方）



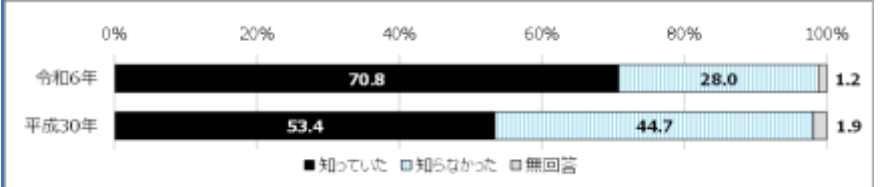
●利用したいと思わない理由



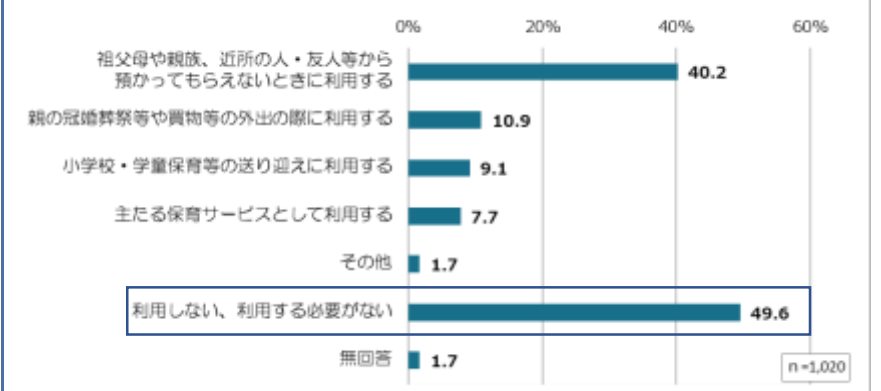
※ その他は、手続きが煩雑である、体調の悪い子どもを他人に預けるのは子どもがかわいそう、祖父母に看てもらうことができる、などとなっています。

【ファミリー・サポート・センターの利用について】

●ファミリー・サポート・センターを知っているか



●利用目的



●利用しない理由

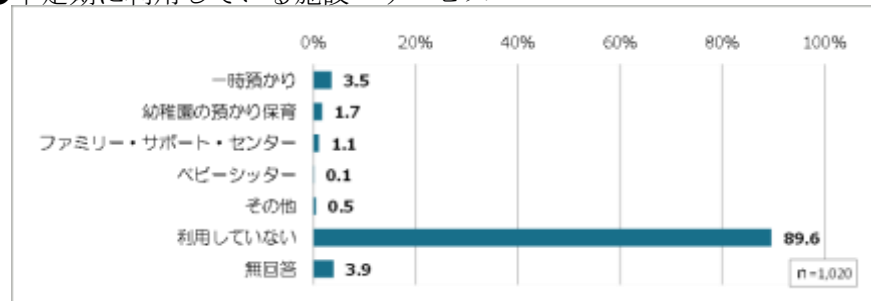


※ その他は、今のところ利用する必要がないという回答が多く、また、まったく知らない人に子どもを預けるのは不安、抵抗があるなどとなっています。

【南魚沼市 就学前児童向けアンケート調査結果】

【不定期の利用について】

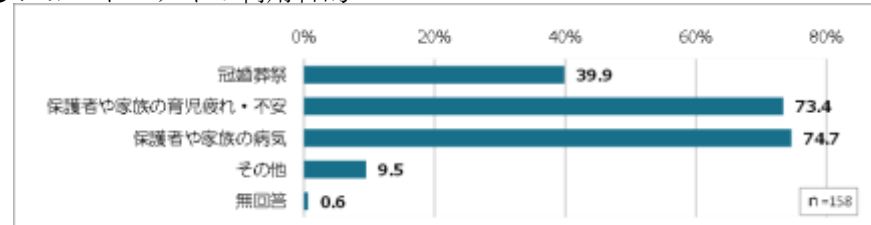
●不定期に利用している施設・サービス



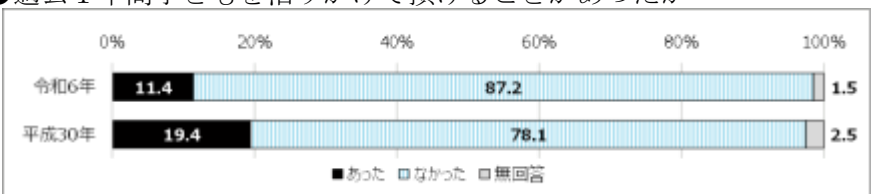
●ショートステイの利用意向



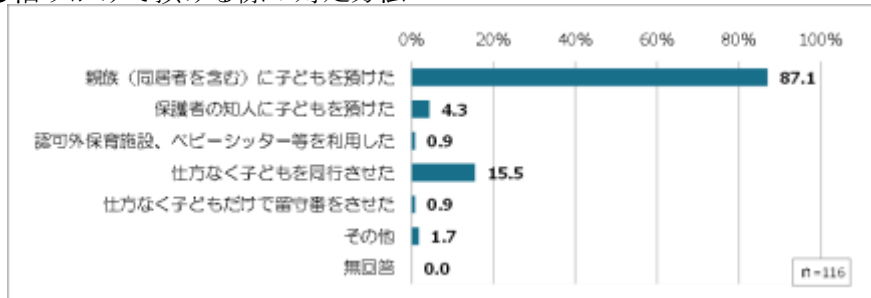
●ショートステイの利用目的



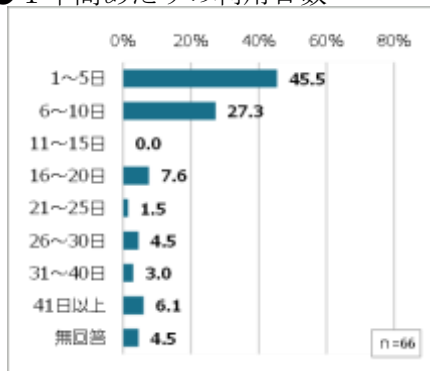
●過去1年間子どもを泊りがけで預けることがあったか



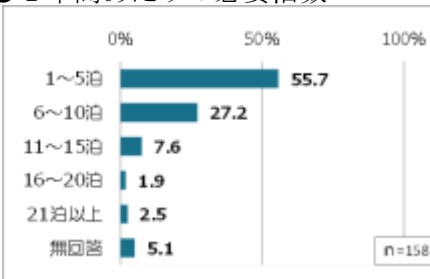
●泊りがけで預ける際の対処方法



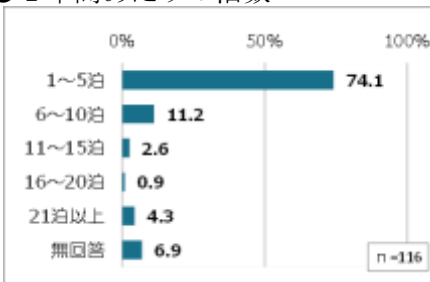
●1年間あたりの利用日数



●1年間あたりの必要泊数

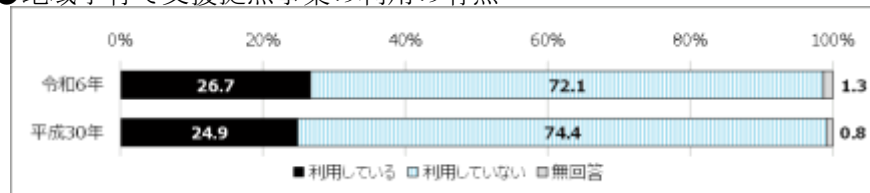


●1年間あたりの泊数

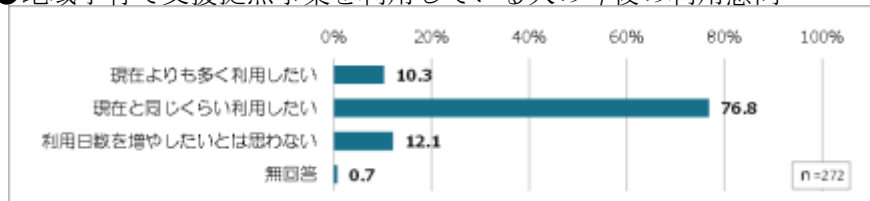


【地域の子育て支援事業の利用状況について】

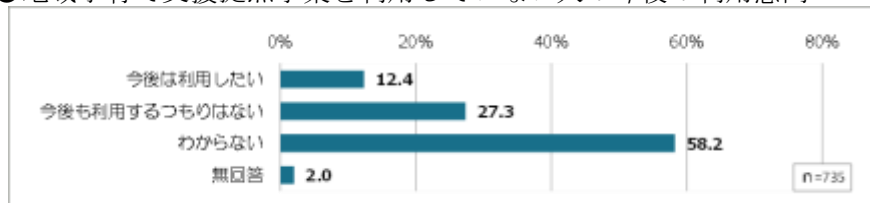
●地域子育て支援拠点事業の利用の有無



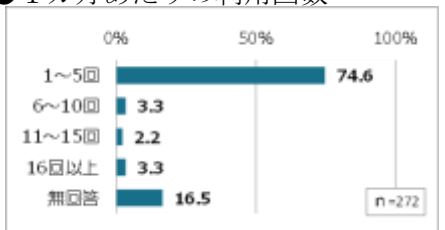
●地域子育て支援拠点事業を利用している人の今後の利用意向



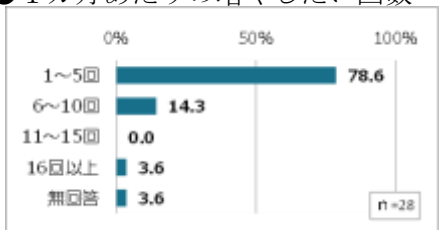
●地域子育て支援拠点事業を利用していない人の今後の利用意向



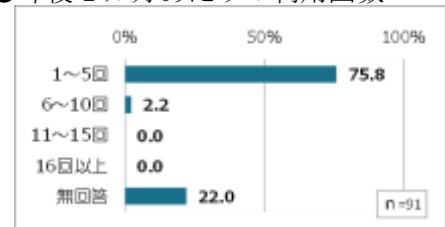
●1カ月あたりの利用回数



●1カ月あたりの増やしたい回数



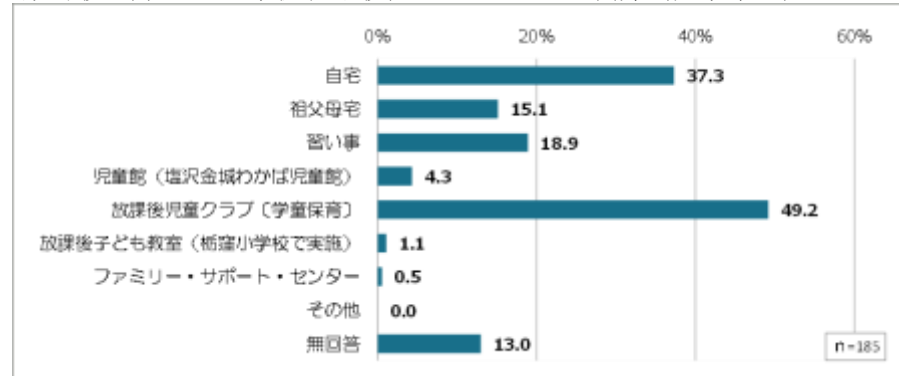
●今後1カ月あたりの利用回数



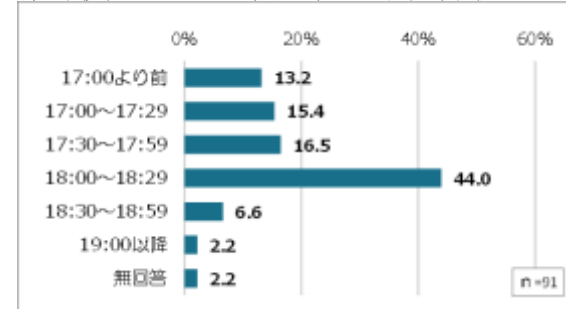
【南魚沼市 就学前児童向けアンケート調査結果】

【小学校就学後の放課後の過ごし方について】

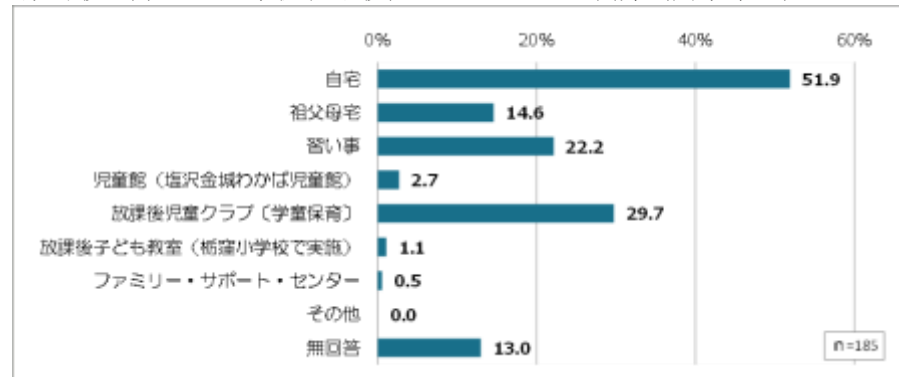
●放課後（平日の小学校終了後）過ごさせたい場所（低学年時）



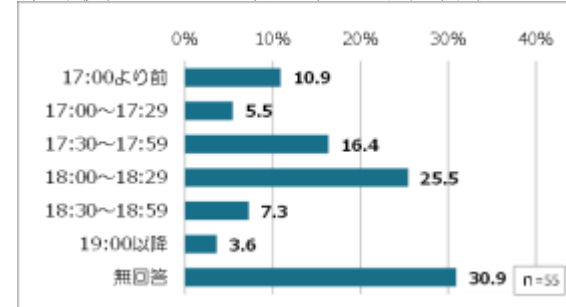
●放課後児童クラブ利用希望時刻（下校時から）低学年時



●放課後（平日の小学校終了後）過ごさせたい場所（高学年時）

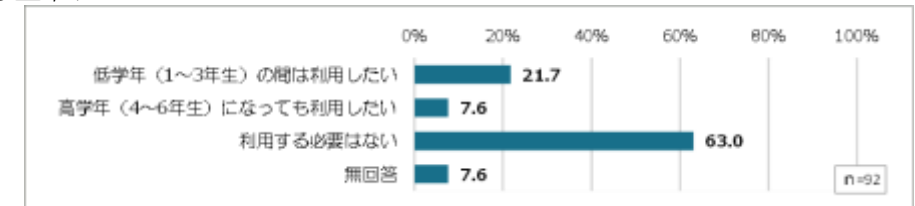


●放課後児童クラブ利用希望時刻（下校時から）高学年時

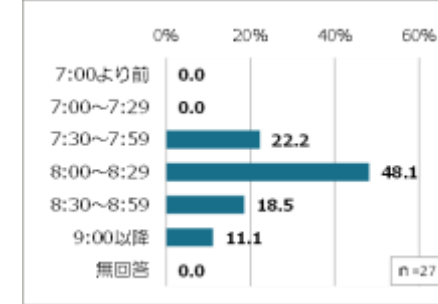


【土日・祝日や長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望について】

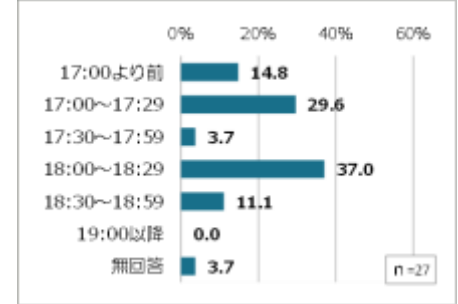
●土曜日



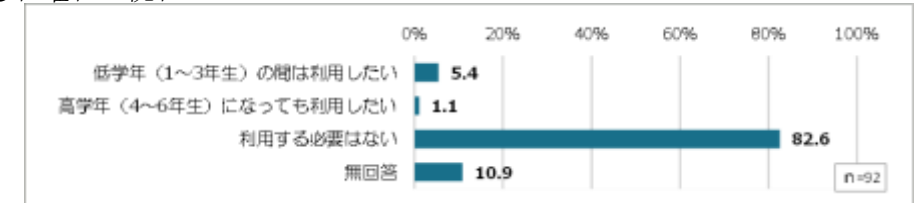
利用希望開始時間



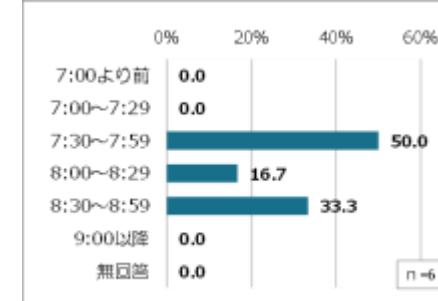
利用希望終了時間



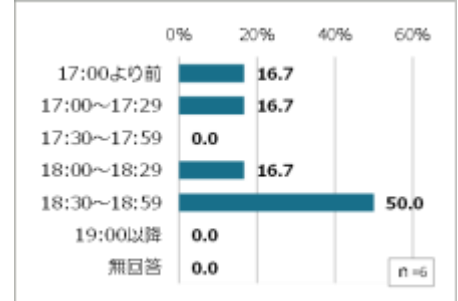
●日曜日・祝日



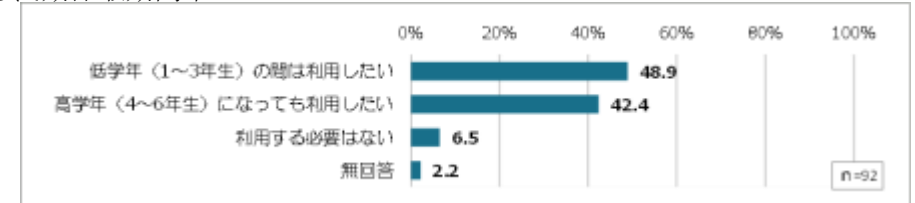
利用希望開始時間



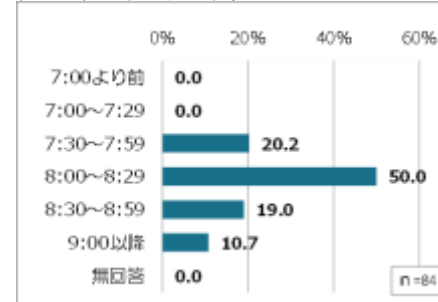
利用希望終了時間



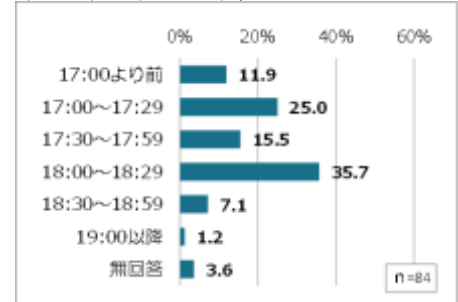
●長期休暇期間中



利用希望開始時間



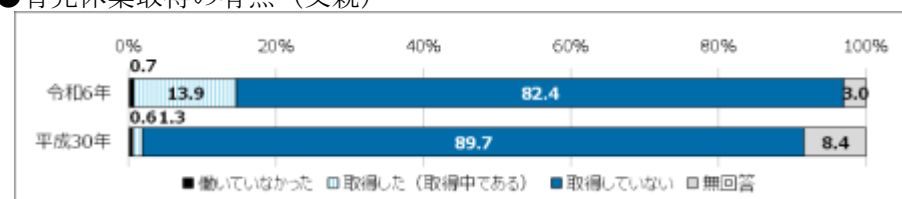
利用希望終了時間



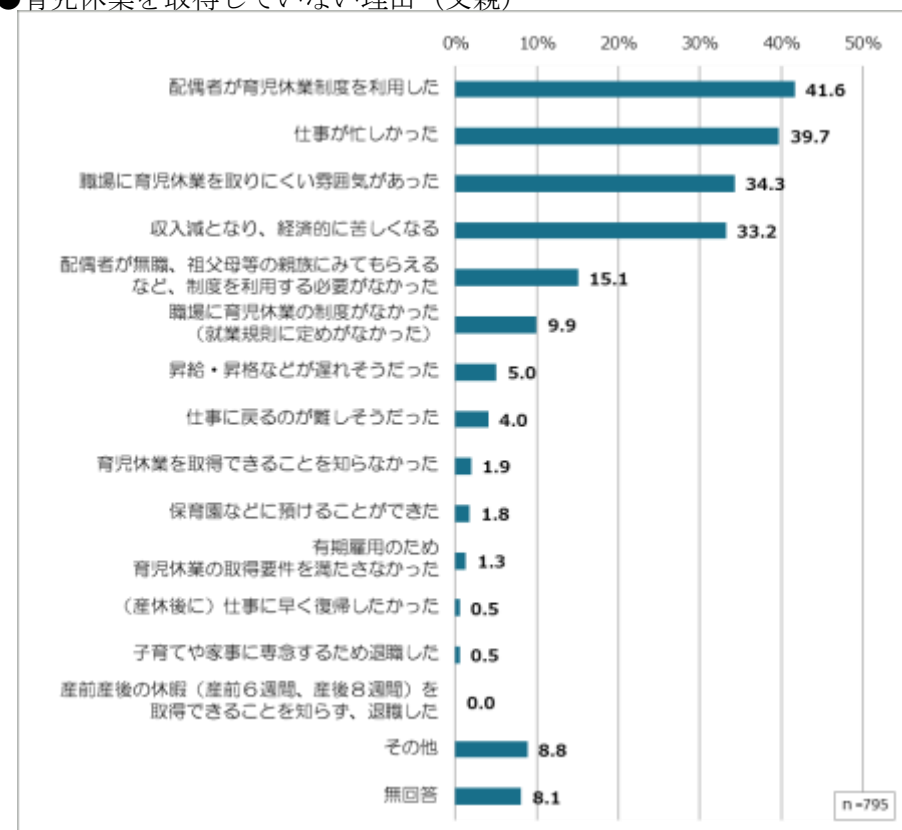
【南魚沼市 就学前児童向けアンケート調査結果】

【育児休業について】

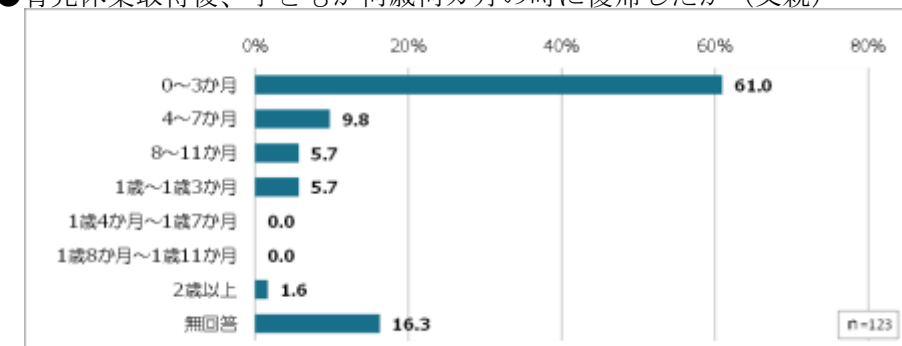
●育児休業取得の有無（父親）



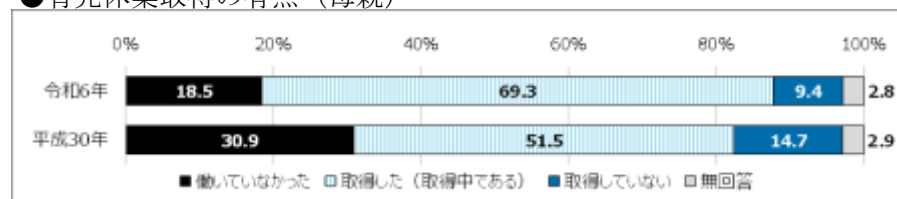
●育児休業を取得していない理由（父親）



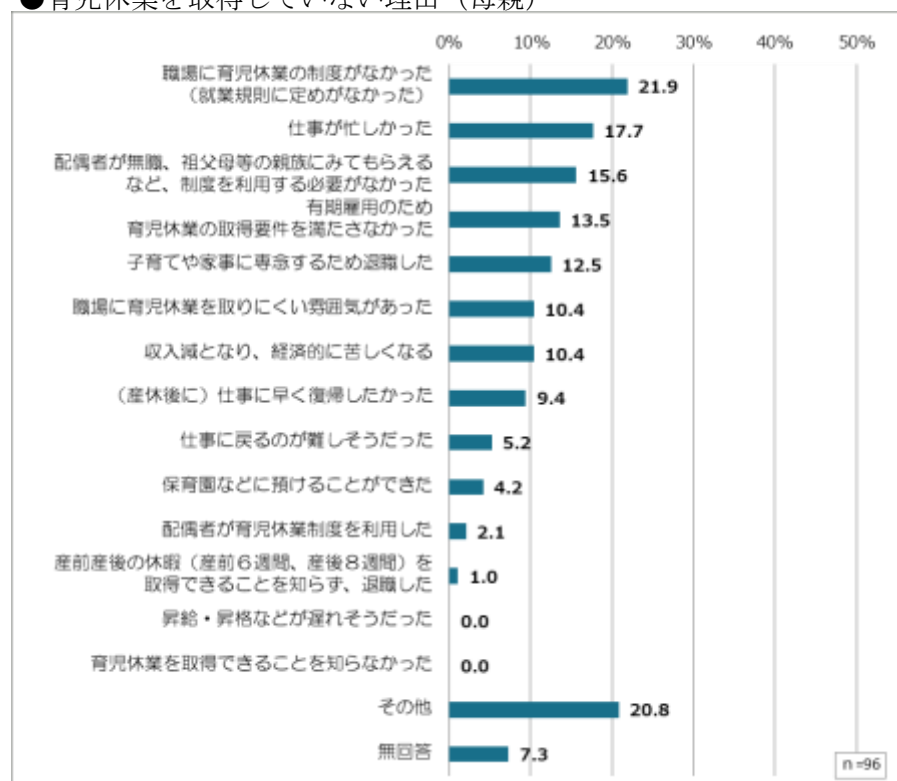
●育児休業取得後、子どもが何歳何カ月の時に復帰したか（父親）



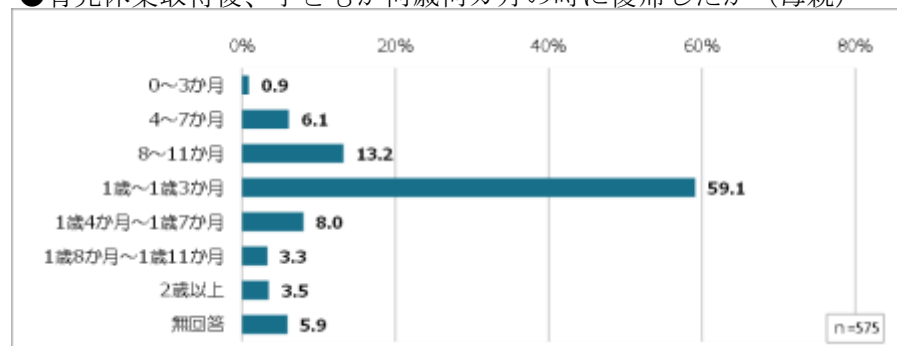
●育児休業取得の有無（母親）



●育児休業を取得していない理由（母親）

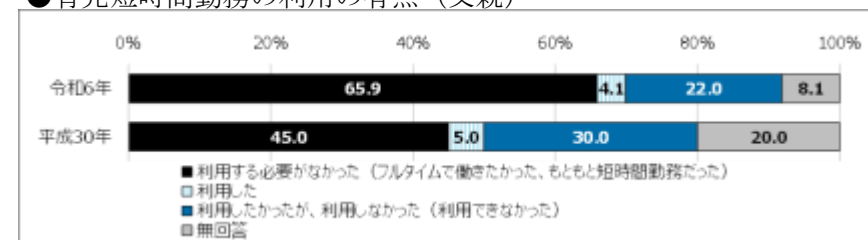


●育児休業取得後、子どもが何歳何カ月の時に復帰したか（母親）

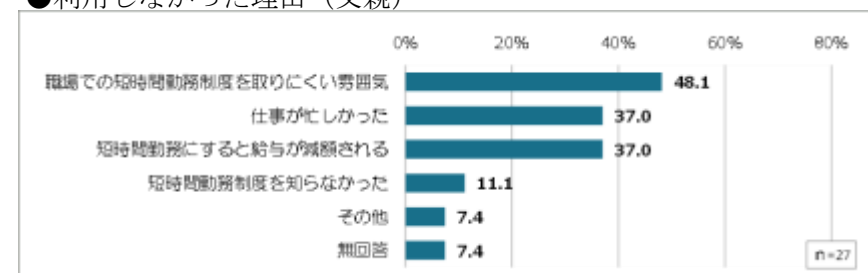


【育児短時間勤務制度について】

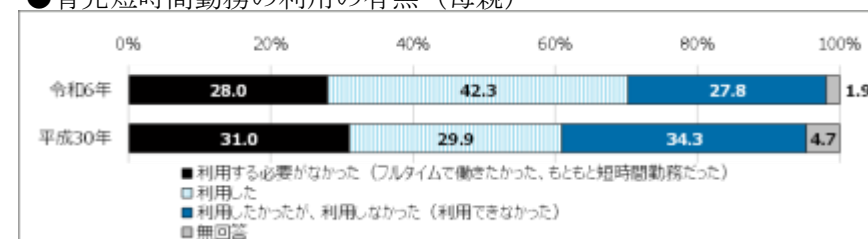
●育児短時間勤務の利用の有無（父親）



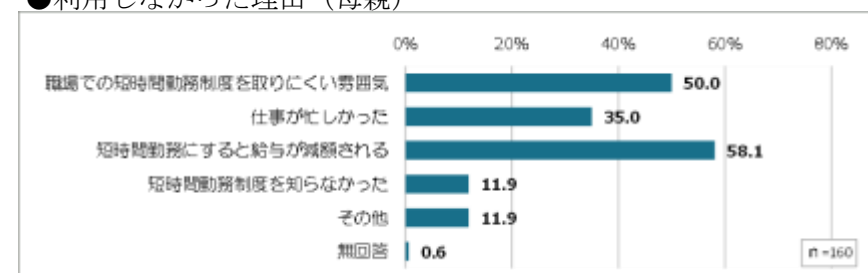
●利用しなかった理由（父親）



●育児短時間勤務の利用の有無（母親）



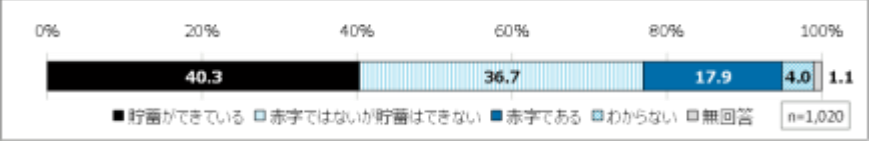
●利用しなかった理由（母親）



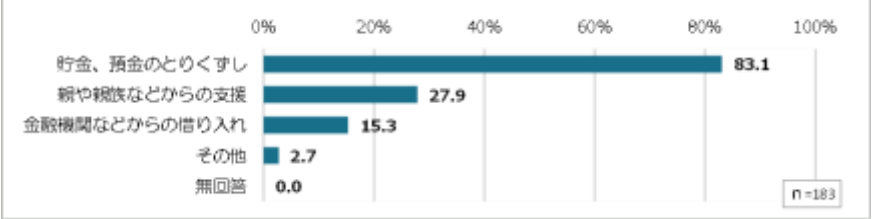
※ その他は、正社員でいられなくなるため、などとなっています。

【世帯の生活状況について】

●世帯の家計の収支状況

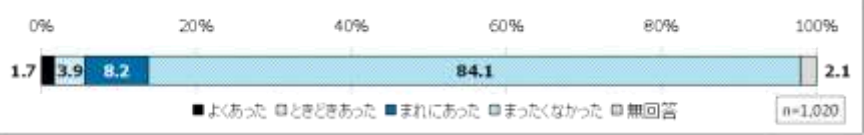


●赤字の場合の対処方法



●過去1年間の経済的な理由による経験

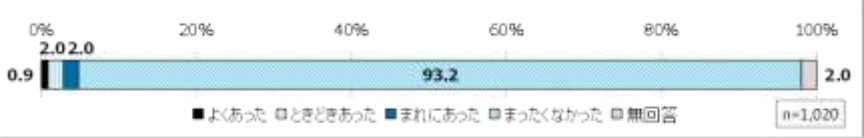
①家族が必要とする食料が買えなかった



②家族が必要とする衣料が買えなかった



③電気代が払えなかった



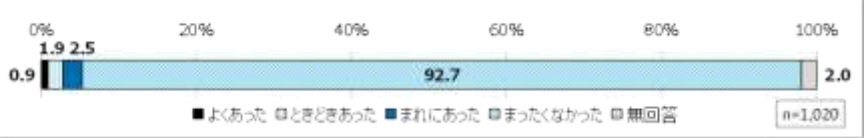
④ガス料金が払えなかった



⑤水道料金が払えなかった



⑥電話代（固定・携帯）が払えなかった

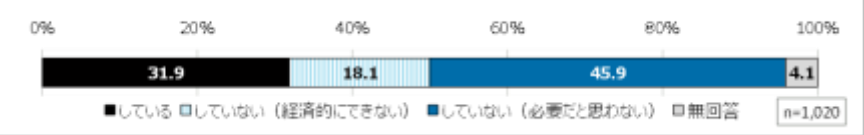


⑦賃貸住宅費や住宅ローンを滞納した



●過去1年間の体験

①習い事・学習塾・通信教育のいずれかをしている



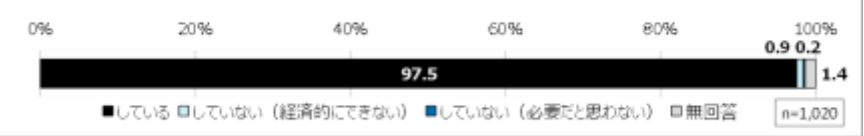
②おこづかいを渡している



③新しい洋服・靴を買っている



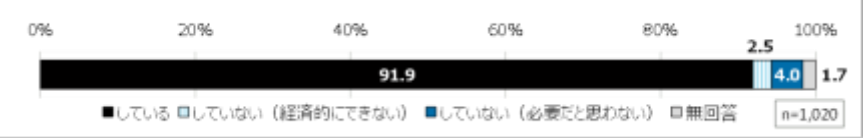
④お誕生日のお祝いをしている



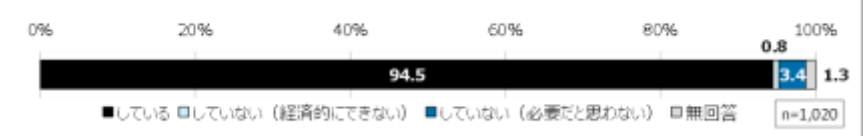
⑤1年に1回くらい家族旅行に行っている



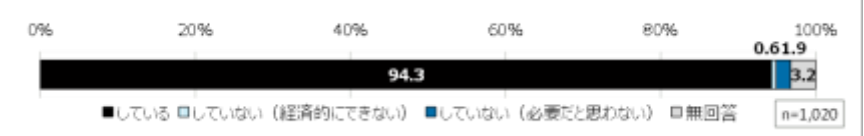
⑥クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげている



⑦医者・歯医者に行っている（医療機関での検診を含む）



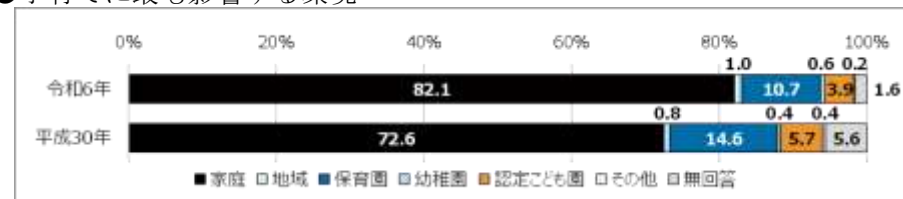
⑧子どもの行事（運動会、保護者会など）へ親が参加している



【南魚沼市 就学前児童向けアンケート調査結果】

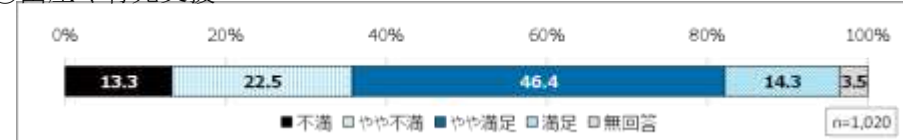
【教育・保育環境について】

●子育てに最も影響する環境



●南魚沼市の子育ての環境や支援への満足度

①出産や育児支援



●不満の内容

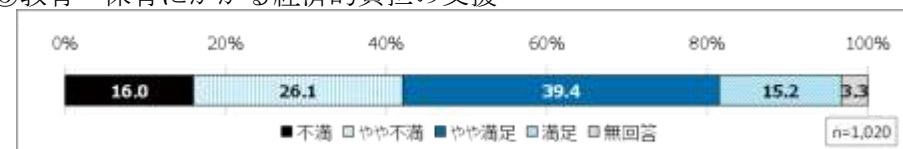
出産費用が高いこと、出産できる医療機関が少ないこと、経済的な支援など他の市町村と比較して子育て支援が充実していないことなどとなっています。

②安心して子どもが医療機関にかかる体制整備



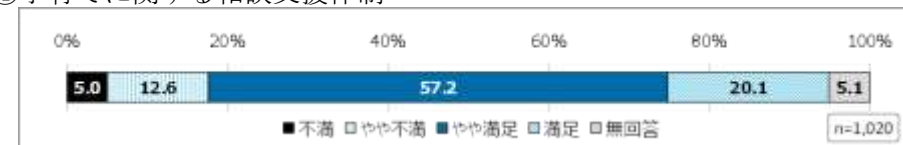
小児科をはじめとする医療機関が少ないこと、なかなか予約がとれない、また予約していても待ち時間が長いこと、他の市町村にあるような18歳未満の医療費の支援がないことなどとなっています。

③教育・保育にかかる経済的負担の支援



いただいた意見のほとんどが3歳未満児の保育料が高いこととなっており、無償化してほしいという声が多く上がっています。

④子育てに関する相談支援体制



どのような相談支援体制があるのか知らない、どこに相談したらいいのかわからない、また相談しても親身に対応してもらえなかったことなどとなっています。

⑤保育園・学童保育の受入れ体制



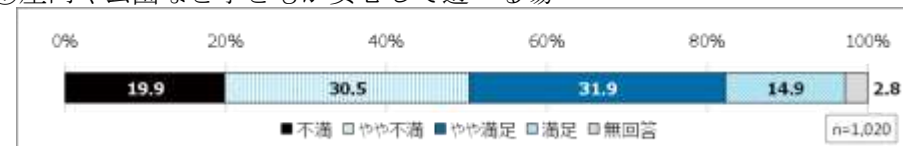
受け入れてもらうための要件が厳しいこと、融通が利かないこと、特に学童保育について定員が少なすぎる、祖父母がいるということだけで預けられないことなどとなっています。

⑥子育て支援施設・サービスの充実



小学生になっても遊べる、または小学生の兄弟と一緒に遊べる広い施設が少ないこと、利用料金が高いこと、利用するための手続きが煩雑であること、日曜や祝日に親子で楽しめる場所がないことなどとなっています。

⑦屋内や公園など子どもが安心して遊べる場

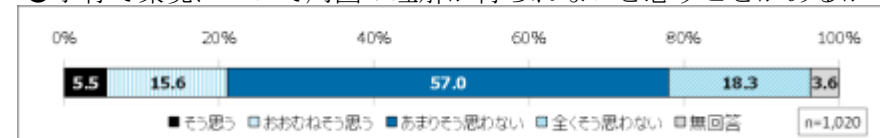


冬場でも遊べる全天候型の遊び場がほしいという声が多く上がっています。また遊具や駐車場が整備された公園が少ないこと、小さい公園の整備が行き届いていないことなどとなっています。

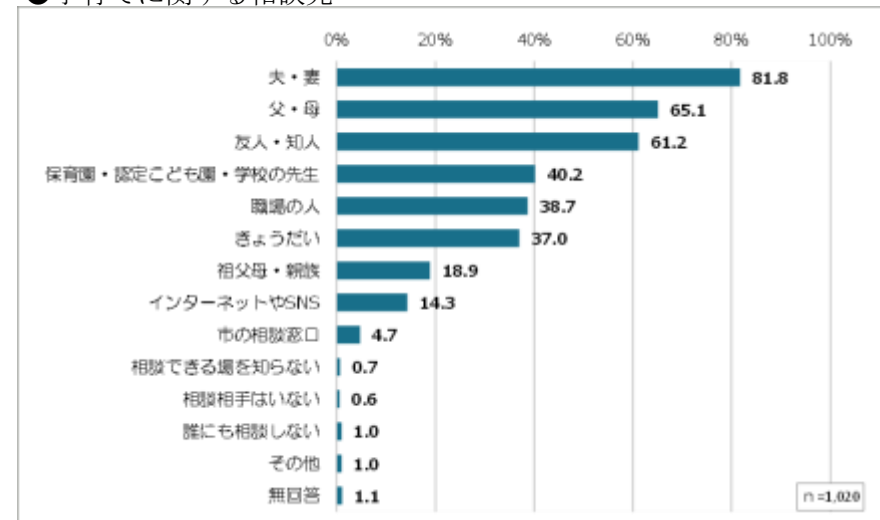
●子育てがしやすい環境だと思うか



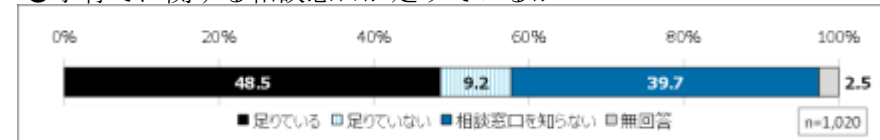
●子育て環境について周囲の理解が得られないと思うことがあるか



●子育てに関する相談先



●子育てに関する相談窓口が足りているか



【南魚沼市 就学前児童向けアンケート調査結果】

【自由意見の抜粋】

※市民の皆様からいただいた意見内容の多い項目を記載しています。

●子どもの居場所

・もう少し、子どもたちが安全に楽しく遊べる施設や公園をつくってもらえると地域活性化にもなると思います。現状では遊べるところが少なく、近隣市町村に遊びに行くという家族が多いと聞いています。

・安心して遊べる公園が少ない。トイレの管理・設置が不十分。草が茂っていてもそのまま。砂場の管理が気になります。おやつのごミ、枝や石が入っていて、子どもがはだしになったときにケガをしてしまいます。

・ファミリーレストランなど、子連れでも入りやすいお店が増えるといいと思います。子どもを無料で遊ばせることのできる施設が圧倒的に少ない気がします。屋内外で遊べる所がほしい。

・冬や雨の日に利用できる広い屋内施設がほしい。

●経済的支援について

・3歳未満の保育料無料の実現を希望します。

・保育園・小中学校の給食を無料にしてほしい。

・教育の無償化。給付金は所得制限なしにしてほしい。

・医療費は高校まで無料にしてほしい。

・児童手当を増やしてほしいです。

・めごちゃん祝い金のような一時的なものではなく、継続的な支援を、親の収入に関係なく行ってほしい。

●保育・学童保育について

・保育園に主食を持って行くことについて、夏は衛生面が気になりますし、冬の冷たいごはんはかわいそうなので、保育園で出してもらえるよう強く希望します。

・学童保育の受入基準について、もっと子育て世帯が利用できるように下げてもらいたいです。指数表だけではわからない家庭の事情があるため。

・フルタイム勤務だと、なかなか保育園の先生と話せる機会がないので、保育園の様子や出来事をもっと知るシステムがほしい。

・家族はみんな働いていて朝も早いため、有料でもいいので学童保育でお弁当を出してほしいです。せめて、買ってきたお弁当でもOKにしてほしい（特に夏休み）。

●子育て支援施策について

・めごちゃん祝い金がとてもありがたかったです。

・病児・病後児保育の空きがいつもなく、もっと枠を増やしてもらえると、仕事にも行けると思うことが多くありました。ファミリー・サポート・センターの利用補助がなくなってしまった（少なくなった）のは経済的に厳しいですが、それでも自分の子どものためにも利用したいと思います。

●次世代が暮らしやすいまちづくりについて

・買い物環境がもう少し整うとうれしいです。子育て世代に優しいチェーン店はいくらあっても困りません。どの世代もあつたらうれしいと思います。親の息抜きになるような場がほしいです。

・他の市町村より南魚沼市は子どもに優しくないと思います。18歳まで医療費を0円にする、保育園も同時入園など関係なく第2子は半額、第3子以降は無償化するなど、他の市町村ができるのに南魚沼はできないものですか。生活に必要なライフライン（特に水道やガス）が南魚沼は高いですし、子どもを育てる場所として若い人が「住みたい」「ココがイイ」と考えるとは思えません。子どもを育てるために、育てやすい場所をつくってほしい。このままだと人は減ります。若い人たちは南魚沼に戻ってきません。子どもを安心して産んで育てられるようにしてください。子どもはすぐお金もかかります。ちゃんと子育て世代の声を聞いて、実現してほしいです。

●医療体制について

・もう少し、小児科が増えると子育て世代も住みやすいと思います。

・皮膚科や耳鼻科、眼科など圧倒的に少なくて、受診できないために長時間運転して遠方へ行かなくてはなりません。赤ちゃんがほしいがお金が心配。基幹病院以外に産める場所がほしい。無痛分娩ができるようにしてほしい。

・夜間休日の小児科受診について、もっと検討してください。毎度特定診療費が高額で負担となっています。

●移動手段に関すること

・学校からの距離だけでなく、歩いての登校が危ない地区、地域にはバスを出してほしいです。

●障がいのある子どもへの支援について

・障がい児に対する支援サービスが不足しています。相談できる医療機関も市外（圏域外）に行かなければならず、障がい児を育てている親には子育てしにくい環境だと思います。

●要望・その他

・子どもたちの通学路が狭かったり、車通りの多い所も多かったりして、もう少し安全に通えるように、歩行者用の道路をつくったり幅を拡げるなどして整備してほしい。特に冬は危険だと思います。

・子育て支援や手当など、産後に自分で調べて申し込みをするなど、自分から調べないとわからなかった支援などあり、大変だった。どのような支援があるのかまとめられているとうれしい。

・大和地域の小学校が1つに統合される方針が出ていますが、これについて地域の住民、とりわけ影響を受ける子どもの親世代が知らない、知らされていない状況です。当事者たちの意見が反映されないまま物事が進められている状況に対して非常に不満であり、怒りもあります。少なくとも前項の保護者代表を入れて協議するべきです。進め方に関して疑念を持つようなやり方は改める必要があると思います。